

2019年9月20日

各 位

会社名 参天製薬株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 黒川 明
(コード番号 4536 東証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーショングループ
(TEL 06 - 4802 - 9360)

抗アレルギー点眼剤「アレジオン®LX点眼液0.1%」の製造販売承認取得および 田辺三菱製薬とのアレジオン点眼液、アレジオンLX点眼液に関する 共同販売促進契約締結のお知らせ

参天製薬株式会社(本社:大阪市、代表取締役会長兼CEO:黒川明、以下参天製薬)は、抗アレルギー点眼剤「アレジオン®LX点眼液0.1%」(開発コードDE-114A、一般名:エピナスチン塩酸塩、以下アレジオンLX)について、2019年9月20日付で日本における製造販売承認を取得しましたので、お知らせします。

また、参天製薬と田辺三菱製薬株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:三津家正之、以下田辺三菱製薬)は、現在、参天製薬が製造・販売する抗アレルギー点眼剤「アレジオン®点眼液0.05%」(一般名:エピナスチン塩酸塩、以下アレジオン)、および、この度承認されたアレジオンLXにおける共同販売促進契約を締結しました。本契約に基づき、同製品の製造・販売は参天製薬が行い、医療機関への情報提供活動については、2019年10月1日より両社共同で実施します。参天製薬は眼科の医療機関を、田辺三菱製薬は眼科以外の医療機関を担当します。

アレジオンLXは、参天製薬が日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社から導入し、アレルギー性結膜炎の治療を目的として日本で開発した点眼剤で、日本で2013年から販売されているアレジオンの高用量製剤です。アレジオンLXの有効成分であるエピナスチン塩酸塩は、ヒスタミンH₁受容体拮抗作用および肥満細胞からの化学伝達物質の遊離抑制作用を有しています。アレジオンLXは、薬剤の眼組織への移行量を高め持続性を向上することにより、アレルギー性結膜炎の主症状である眼そう痒感および結膜充血を、1日2回点眼で抑制することが国内で実施した臨床試験で確認されています。また、重篤な副作用は眼局所、全身ともに認められていません。

アレルギー性疾患治療剤「ルパフィン®錠10mg」を販売し、幅広い診療科へのアクセスを有する田辺三菱製薬と、眼科のスペシャリティ・カンパニーである参天製薬が共同販売促進契約を締結することで、アレジオン、アレジオンLXを、より多くの医療現場に提供し、患者さんのQOL(クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)の向上に寄与できると期待しています。

なお、本件による当期業績予想の修正は予定していません。また、共同販売促進契約の経済条件は非開示です。

<アレジオン LX について>

製品名	アレジオン®LX 点眼液 0.1%
一般名	エピナスチン塩酸塩
剤形	無菌水性点眼剤
効能・効果	アレルギー性結膜炎
用法・用量	通常、1 回 1 滴、1 日 2 回（朝、夕）点眼する。

以上

参天製薬株式会社について

参天製薬は、眼科に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医療用・一般用の医薬品や、医療機器の研究、開発、販売・マーケティング活動を行っています。世界約 60 を超える国・地域で製品を販売しており、国内の医療用眼科薬市場においては No.1 のシェアを有しています。130 年近くの歴史の中で培われた科学的知見や企業力を活かし、今後も、価値ある製品・サービスの提供を通じ、患者さんや患者さんを愛する人たちを中心として、社会への貢献を果たしてまいります。詳細については、当社ホームページ www.santen.co.jp をご参照ください。

将来見通しに関する注意事項 (Forward-Looking Statements)

このプレスリリースにおいて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(“Forward-Looking Statements”)が含まれています。これらの見通しの実現できるかどうかはさまざまなリスクや不確実性に左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。また、日本ならびにその他各国政府による医療制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。